

I 調査の概要

1. 目的

市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、横浜市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とする。

2. 構成

ほぼ毎年継続して質問する項目と、行政課題などに応じて年度ごとに設定する項目から構成する。

3. 仕様

- (1) 調査地域 横浜市全域
- (2) 調査対象 横浜市内に居住する満 18 歳以上の男女個人
- (3) 抽出人数 5,000 人
- (4) 抽出方法 日本人、外国籍市民ともに住民基本台帳から単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法・インターネット回答方式併用（調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットによる）
- (6) 調査期間 令和 5 年 7 月 10 日（月）～7 月 31 日（月）
- (7) 調査実施、集計、分析 株式会社ジャンボ

4. 項目

- (1) 【市政】市政への満足度、市政への要望、市政全体への満足度
- (2) 【定住意識】現住地居住年数、前住地、居住地選択時の候補地、「横浜市」を住まいとして選んだ理由、現住地定住意向、希望する転居先、市内定住意向、横浜に住み続ける理由
- (3) 【地域におけるつながり】隣近所とのつき合い方、隣近所とのつき合いの感じ方
- (4) 【生活意識】生活満足度、心配ごとや困りごと
- (5) 【新型コロナウイルス感染症の暮らしへの影響】新型コロナウイルス感染症の影響
- (6) 【横浜市の魅力】横浜市の魅力
- (7) 【地域への愛着】横浜市に対して、区に対して、周辺の地域に対して
- (8) 【今後の横浜のまち】今後の横浜のまち
- (9) 【グローバルな人材の育成】必要な能力
- (10) 【国際園芸博覧会】認知度
- (11) 【大都市制度】認知度

5. 回収結果

- (1) 回収件数 2,203 件（郵送回答 1,452 件／インターネット回答 751 件）
- (2) 回収率 44.1%
- (3) 未回収件数 2,797 件（転居、住所不明 82 件を含む）

6. 集計方法

単純集計と以下の項目別クロス集計を行った。

区別（18区別）、ブロック別（4ブロック別）、年齢別、性・年齢別、ライフステージ別、世帯類型別、設問間クロス集計

7. 報告書の見方

- (1) nは質問に対する回答の対象者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 百分比は少数第2位を四捨五入して少数第1位まで示している。このため、内訳の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (3) 1回答者が2つ以上の回答をしてもよい複数回答の設問では、百分比の合計は通常100.0%を超える。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 単純無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を95%としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数(n)、及び回答比率(P)によって異なる。

<標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数

n = 回答件数（比率算出の基数）

P = 回答比率

<標本誤差早見表>

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
2,203人	±1.25	±1.67	±1.91	±2.05	±2.09
2,000人	±1.31	±1.75	±2.01	±2.15	±2.19
1,000人	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500人	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
100人	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

※ 母集団は横浜市全体の満18歳以上人口3,222,960人である。（令和5年3月31日）

<標本誤差の見方>

例えば、「ある設問の回答者数が2,203であり、その設問中の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも2.05以内（57.95%～62.05%）である」とみることができる。

ただし、信頼度が95%であるので、そのように判断することは95%の確率で正しいことになる。

8. 回収標本構成

(1) 区別

	実数	割合 (%)
全体	2,203	100.0%
鶴見区	176	8.0%
神奈川区	134	6.1%
西区	58	2.6%
中区	83	3.8%
南区	105	4.8%
港南区	131	5.9%
保土ヶ谷区	109	4.9%
旭区	124	5.6%
磯子区	91	4.1%
金沢区	130	5.9%
港北区	184	8.4%
緑区	110	5.0%
青葉区	170	7.7%
都筑区	106	4.8%
戸塚区	183	8.3%
栄区	77	3.5%
泉区	95	4.3%
瀬谷区	83	3.8%
無回答	54	2.5%

(2) ブロック別

	実数	割合 (%)
全体	2,203	100.0%
東部	556	25.2%
西部	594	27.0%
南部	429	19.5%
北部	570	25.9%
無回答	54	2.5%

※ブロック別の構成は、以下のとおりである。
 東部：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区
 西部：保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区
 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区
 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区

(3) 性・年齢別

	調査結果		市全体（令和5年3月31日現在）		
	実数	割合 (%)	人口 (人)	構成比 (%)	
全体（満18歳以上）	2,203	100.0%	3,222,960	100.0%	
18～29歳	171	7.8%	490,565	15.2%	
（18～19歳）	(23)	(1.0%)	(68,413)	(2.1%)	
30代	247	11.2%	431,141	13.4%	
40代	320	14.5%	545,488	16.9%	
50代	441	20.0%	602,103	18.7%	
60代	356	16.2%	407,897	12.7%	
70歳以上	612	27.8%	745,766	23.1%	
（80歳以上）	(212)	(9.6%)	(323,068)	(10.0%)	
男性計	977	44.3%	1,586,791	49.2%	
女性計	18～29歳	83	3.8%	250,494	7.8%
	（18～19歳）	(10)	(0.5%)	(35,092)	(1.1%)
	30代	129	5.9%	221,270	6.9%
	40代	129	5.9%	278,102	8.6%
	50代	181	8.2%	309,152	9.6%
	60代	168	7.6%	206,298	6.4%
	70歳以上	285	12.9%	321,475	10.0%
	（80歳以上）	(95)	(4.3%)	(124,006)	(3.8%)
女性計	1,143	51.9%	1,636,169	50.8%	
性別・年齢無回答	18～29歳	85	3.9%	240,071	7.4%
	（18～19歳）	(13)	(0.6%)	(33,321)	(1.0%)
	30代	117	5.3%	209,871	6.5%
	40代	186	8.4%	267,386	8.3%
	50代	253	11.5%	292,951	9.1%
	60代	185	8.4%	201,599	6.3%
	70歳以上	316	14.3%	424,291	13.2%
	（80歳以上）	(113)	(5.1%)	(199,062)	(6.2%)
性別・年齢無回答	56	2.5%	—	—	

(注) 市全体の人口は、横浜市年齢別男女別人口（住民基本台帳登録者数）による。

(4) ライフステージ別

本調査においては各ライフステージとして、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,203	100.0%	
子どもなし (計)		606	27.5%	
1 単身 (1)		216	9.8%	配偶者なし・子どもなし・40歳未満
2 単身 (2)		136	6.2%	配偶者なし・子どもなし・40～64歳
3 夫婦だけ (1)		47	2.1%	配偶者あり・子どもなし・40歳未満
4 夫婦だけ (2)		116	5.3%	配偶者あり・子どもなし・40～64歳
5 高齢子どもなし		91	4.1%	65歳以上・子どもなし
子どもあり (計)		1,416	64.3%	
6 家族形成期		103	4.7%	子どもあり・第一子が小学校入学前
7 家族成長前期		120	5.4%	子どもあり・第一子が小学校在学中
8 家族成長中期		126	5.7%	子どもあり・第一子が中学校又は高校在学中
9 家族成長後期		116	5.3%	子どもあり・第一子が各種学校・専修・専門学校・短大・大学生・大学院生の子を持つ親
10 家族成熟前期		72	3.3%	子どもあり・第一子が学校教育終了・教育期*の子どもがいる
11 家族成熟中期		277	12.6%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳未満
12 家族成熟後期		602	27.3%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳以上
その他		181	8.2%	1～12以外、分類不能

※ 教育期・・・小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<ライフステージとその構成条件>

質問、項目名 選択肢名		ライフ ステージ												そ の 他	
		1 単 身 (1)	2 単 身 (2)	3 夫 婦 だ け (1)	4 夫 婦 だ け (2)	5 高 齢 子 ど も な し	6 家 族 形 成 期	7 家 族 成 長 前 期	8 家 族 成 長 中 期	9 家 族 成 長 後 期	10 家 族 成 熟 前 期	11 家 族 成 熟 中 期	12 家 族 成 熟 後 期		
F6 子 ど も	なし あり	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
F2 年 齢	40歳未満 40歳～64歳 65歳以上	○		○			/	/	/	/	/	/	○		
F5 未 ・ 既 婚	既婚・有配偶者 既婚・配偶者離死別 未婚			○	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/
F 6 子 ど も の 成 長 段 階	小学校入学前 小学校在学中 中学校在学中 高校在学中 各種・専修・専門学校在学中 短大・大学・大学院在学中 学校教育終了 未婚・同居 未婚・別居 既婚・同居 既婚・別居	/	/	/	/	/	○	○			○	○	○	○	○

(注1) ライフステージ間は重複しないものとする。

(注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、「9 家族成長後期」の○印は、子どもが複数いる場合、第一子の状況とする。

(注3) 子どもの成長段階の欄のうち、「10 家族成熟前期」は、◎印及び○印がそれぞれ1つ以上あることを条件とする。

(注4) ライフステージの「その他」は、1～12以外のもの及び分類不能なもの（構成条件の質問で「その他」もしくは「無回答」と回答したもの）である。

(5) 世帯類型別

本調査においては各世帯類型として、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,203	100.0%	
1 ひとり暮らし (1)		62	2.8%	ひとり暮らし・40歳未満
2 ひとり暮らし (2)		90	4.1%	ひとり暮らし・40～64歳
3 ひとり暮らし (3)		117	5.3%	ひとり暮らし・65歳以上
4 夫婦のみ (1)		194	8.8%	夫婦二人暮らし・子どもなし
5 夫婦のみ (2)		389	17.7%	夫婦二人暮らし・子どもあり
6 子と同居 (1)		467	21.2%	親子2世代で同居・教育期*の子どもがいる
7 子と同居 (2)		285	12.9%	親子2世代で同居・子どもが全員学校教育終了
8 親と同居 (1)		134	6.1%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳未満
9 親と同居 (2)		65	3.0%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳以上
10 祖父母と親と子		77	3.5%	祖父母と親子と子3世代で同居
その他		323	14.7%	1～10以外、分類不能

※ 教育期…小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<世帯類型とその構成条件>

世帯類型 質問、項目名 選択肢名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他
		ひとり暮らし(1)	ひとり暮らし(2)	ひとり暮らし(3)	夫婦のみ(1)	夫婦のみ(2)	子と同居(1)	子と同居(2)	親と同居(1)	親と同居(2)	祖父母と親と子	
F7 家族形態	一人暮らし	○	○	○								
	夫婦のみ				○	○						
	親と子(2世代)						○	○	○	○		
	祖父母と親と子(3世代)										○	
F6 子どもの成長段階	子どもはいない				○				○	○		
	小学校入学前					○	○					
	小学校在学中					○	○					
	中学校在学中					○	○					
	高校在学中					○	○					
	各種・専修・専門学校在学中					○	○					
	短大・大学・大学院在学中					○	○					
	学校教育終了							○	○	○		
F2 年齢	40歳未満	○							○			
	40歳～64歳		○							○		
	65歳以上			○						○		

(注1) 世帯類型間は重複しないものとする。

(注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 子と同居(1)」は、○印が1つ以上あることを条件とし、学校教育を終了した子どもの有無は問わない。「7 子と同居(2)」は学校教育を終了した子どものみとする。(○)印は分類には影響しない

(注3) 世帯類型の「その他」は、1～10以外のもの及び分類不能なもの(構成条件の質問で「その他」もしくは「無回答」と回答したもの)である。

(6) 出生地別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
横浜生まれ		648	29.4%
横浜以外		1,500	68.1%
無回答		55	2.5%

(7) 未・既婚別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
既婚(計)		1,712	77.7%
有配偶者		1,462	66.4%
離死別		250	11.3%
未婚		425	19.3%
無回答		66	3.0%

(8) 共働き状況別 n=既婚(有配偶者)

属性	数値	実数	割合
全体		1,462	100.0%
共働きしている		680	46.5%
共働きしていない		777	53.1%
無回答		5	0.3%

(9) 職業別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
有職者(計)		1,335	60.6%
自営業		124	5.6%
管理職		140	6.4%
専門技能職		227	10.3%
事務職		422	19.2%
現業職		422	19.2%
無職者(計)		813	36.9%
専業主婦・主夫		282	12.8%
学生		51	2.3%
無職		480	21.8%
無回答		55	2.5%

(10) 就業形態別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全体		1,211	100.0%
会社役員		76	6.3%
正社員・正規職員		654	54.0%
アルバイト・パート		284	23.5%
派遣社員		39	3.2%
契約社員・嘱託社員		127	10.5%
その他		20	1.7%
無回答		11	0.9%

(11) 勤務地別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全体		1,211	100.0%
居住区内		295	24.4%
市内他区		384	31.7%
川崎市		83	6.9%
川崎市を除く県内の他市町村		63	5.2%
東京都区部		314	25.9%
東京都区部を除く東京都		18	1.5%
千葉県		4	0.3%
埼玉県		2	0.2%
その他		37	3.1%
無回答		11	0.9%

(12) 住居形態別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
持家(一戸建て)		1,021	46.3%
持家(マンション・共同住宅)		655	29.7%
借家(一戸建て)		22	1.0%
借家(県営・市営の共同住宅)		45	2.0%
借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)		60	2.7%
借家(社宅、公務員住宅)		35	1.6%
借家(民間アパート、民間賃貸マンション)		316	14.3%
その他		18	0.8%
無回答		31	1.4%

(13) 鉄道路線別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
横浜線		165	7.5%
東横線・みなとみらい線		188	8.5%
田園都市線・こどもの国線		177	8.0%
根岸線		179	8.1%
相鉄線		328	14.9%
東海道線北部		155	7.0%
東海道線南部		212	9.6%
京浜急行線		277	12.6%
市営地下鉄北部		235	10.7%
市営地下鉄南部		146	6.6%
その他・不明		141	6.4%

(注)・東海道線北部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区、「京浜東北線」、「京浜急行線」のうちの鶴見区、「南武線」、「鶴見線」
 ・東海道線南部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区以外
 ・京浜急行線:「京浜急行線」のうちの鶴見区以外、「金沢シーサイドライン」
 ・市営地下鉄線北部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区
 ・市営地下鉄線南部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区以外

9. 調査票と単純集計結果

『横浜市民意識調査』 調査票

[%の基数表示の無いものは、n=2,203]

【定住意識】 お住まいのご様子についてお尋ねします。

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいますか。(○は1つ)

2.4	65年以上前〔昭和33年(1958年)以前〕	
3.3	55～64年前〔昭和34～43年(1959～1968年)〕	
7.4	45～54年前〔昭和44～53年(1969～1978年)〕	
9.4	35～44年前〔昭和54～63年(1979～1988年)〕	
15.5	25～34年前〔平成元年(昭和64年)～平成10年(1989～1998年)〕	
22.7	15～24年前〔平成11～20年(1999～2008年)〕	
11.3	10～14年前〔平成21～25年(2009～2013年)〕	
10.7	5～9年前〔平成26～30年(2014～2018年)〕	
16.6	5年未満〔平成31年(2019年)以降〕	0.7 (無回答)

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

3ページ
問3へ

4.8	生まれてからずっと現住所に住んでいる	4.5	川崎市を除く県内の他市町村
31.0	今住んでいるのと同じ区内	8.1	東京都区部
29.3	横浜市内の別の区	2.1	東京都区部を除く東京都内
6.6	川崎市	12.7	そのほかの道府県・国外

0.8 (無回答)

(問2で「2」～「8」と答えた方に)

問2-1 現在のお住まいを決める際に、お住まいが「横浜市」であることを意識していましたか。(○は1つ) (n=2,079)

53.6	当初から「横浜市」に住むつもりだった。	
11.6	いくつかの候補地の中で、最も「横浜市」に住みたいと思っていた。	
1.7	「横浜市」は候補地の1つだったが、できれば「横浜市」以外に住みたいと思っていた。	
12.0	「横浜市」を含めた候補地のうち、どこに住んでもよいと思っていた。	
1.4	「横浜市」は、候補地として考えていなかった。	
13.7	候補地は決めていなかった。	6.0 (無回答)

問2-2 「横浜市」をお住まいとして選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも) (n=2,079)

22.0	生まれ育った場所だから	8.3	街のにぎわいや活気があるから
17.5	自分や家族の持家だから	13.3	街並みや景観がよいから
9.9	家賃や住宅の価格が手ごろだから	13.8	自然が身近にあるから
24.8	親や子、親族、友人などがいるから	16.2	街のイメージがよいから
42.7	通勤・通学に便利だから	14.8	愛着を感じているから
21.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから	24.0	横浜が好きだから
7.1	子育ての環境が整っているから	9.9	その他(具体的に)
11.1	余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから	4.0	特に理由はない
			2.4 (無回答)

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けますか。(〇は1つ)

35.5 住み続ける	9.6 たぶん転居する	12.5 わからない	1.1 (無回答)
37.3 たぶん住み続ける	4.0 転居する		

問4へ

問5へ

(問3で「3」または「4」と答えた方に)

→ 問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

12.0 同じ区内	23.1 横浜市内	31.1 横浜市以外	32.8 具体的にはわからない	(n=299)
↓		↓		1.0 (無回答)
問4へ		問5へ		

(問3で「1」または「2」と答えた方、問3-1で「1」または「2」と答えた方に)

→ 問4 あなたが横浜に住み続けようと思うのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも) (n=1,710)

25.6 生まれ育った場所だから	10.4 街ににぎわいや活気があるから
50.9 自分や家族の持家だから	16.7 街並みや景観がよいから
2.9 家賃や住宅の価格が手ごろだから	18.8 自然が身近にあるから
29.2 親や子、親族、友人などがいるから	15.3 街のイメージがよいから
27.9 通勤・通学に便利だから	40.1 長年住んでいて愛着があるから
34.0 買い物、医療などの生活環境が整っているから	32.6 横浜が好きだから
4.0 子育ての環境が整っているから	1.4 その他(具体的に)
17.0 余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから	2.5 特に理由はない
	1.3 (無回答)

【地域におけるつながり】隣近所とのつき合い方についてお尋ねします。

問5 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

14.1 顔もよく知らない	0.7 (無回答)
48.2 道で会えば挨拶ぐらいする	
27.9 たまに立ち話をする	
4.7 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている	
4.4 困ったとき、相談したり助け合ったりする	

問6 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つ)

78.8 互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい	0.9 (無回答)
8.7 人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい	
10.6 親密な人間関係があって、暮らしやすい	
1.1 人間関係が濃密で、わずらわしい	

【生活意識】生活の満足度や心配ごとなどについてお尋ねします。

問7 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。
(○は1つ)

26.9 満足しているほう	6.6 やや不満があるほう
48.8 まあ満足しているほう	3.4 不満があるほう
12.6 どちらともいえない	1.7 (無回答)

問8 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(○はそれぞれ1つ)

	ほ満足している	いまある満足している	いどちえらなど	あやや不満がある	ほ不満がある	無回答
(ア) 住まい	32.1	48.3	9.4	6.7	2.5	1.0
(イ) 自由に過ごせる時間	30.8	44.7	12.6	7.7	3.1	1.2
(ウ) 仕事・学業	14.9	36.7	26.1	6.6	4.1	11.5
(エ) 収入	10.1	32.4	28.4	17.4	9.0	2.7
(オ) 健康	15.3	43.7	22.6	11.8	5.0	1.6
(カ) 家族との関係	37.4	43.3	12.2	3.4	2.0	1.8
(キ) 友人や近隣とのつき合い	16.5	48.9	28.4	3.4	1.5	1.4

問9 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(○は3つまで)

53.7 自分の病気や健康、老後のこと	3.8 近隣からの悪臭・騒音
39.2 家族の病気や健康、生活上の問題	4.3 環境問題
6.1 失業・倒産や収入が減ること	7.7 事故や災害のこと
13.1 仕事や職場のこと	8.4 犯罪や防犯のこと
29.4 景気や生活費のこと	9.7 住宅のこと
11.5 子どもの保育や教育のこと	4.0 その他(具体的に)
6.9 子どもの結婚や就職のこと	10.6 心配ごとや困っていることはない

2.5 (無回答)

【市 政】市の行政などについてお尋ねします。

問 10 あなたが、(ア) 満足している公共サービス、(イ) 今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

選択肢	(ア)満足している	(イ)充実すべき
1 バス・地下鉄などの便	54.1	20.7
2 幹線道路や高速道路の整備	29.9	10.0
3 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	25.2	27.5
4 違法駐車防止や交通安全対策	10.6	24.5
5 最寄り駅周辺の整備	22.9	24.2
6 魅力的な郊外部まちづくり	11.9	18.5
7 都心部の整備や魅力づくり	16.4	9.7
8 街並みや景観の形成や保全	19.5	15.5
9 港湾機能と市民が親しめる港づくり	14.0	9.4
10 観光やコンベンション(国際会議やイベント)の振興	14.4	7.4
11 身近な住民窓口サービス	15.2	19.4
12 役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化	13.3	24.1
13 中小企業振興や雇用の創出	4.1	16.3
14 商店街の振興	5.9	25.5
15 スタートアップ支援、企業誘致等による市内経済活性化	4.9	11.9
16 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	6.8	15.1
17 公園・動物園の整備	20.6	16.8
18 緑の保全と緑化の推進	17.8	20.2
19 河川改修と水辺環境の整備	11.2	17.2
20 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	9.9	17.0
21 良質な水の確保や安定供給	20.8	13.3
22 ごみの分別収集、リサイクル	31.6	14.5
23 ごみの不法投棄対策や街の美化	8.4	24.6
24 脱炭素社会に向けた取組	4.7	17.9
25 地震や台風などの災害対策	6.2	30.2
26 防犯対策	5.8	29.8
27 妊娠・出産・子育て期における支援	6.4	26.6
28 保育サービスや放課後の居場所づくり	5.9	22.5
29 保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助	4.6	22.7
30 学校教育の充実	6.7	21.8
31 青少年の健全育成	4.7	16.1
32 病院や救急医療など医療提供体制の充実	12.8	29.0
33 ライフステージに応じた心身の健康づくり	6.2	14.5
34 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)	8.9	25.8
35 高齢者福祉	7.3	28.8
36 障害者福祉	6.0	20.2
37 生活に困難を抱えている人への自立支援	4.6	20.5
38 良好な住まい・住環境の確保	10.4	15.2
39 地域コミュニティの活性化や支えあい	7.5	12.7
40 市内大学と連携した地域づくり	6.2	9.3
41 市民の文化芸術活動への支援と環境整備	7.4	8.2
42 スポーツの振興と環境整備	9.4	9.0
43 橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策	4.8	26.3
44 国際交流・協力、多文化共生の推進	7.7	8.8
45 ジェンダー平等の推進、人権問題への対応	5.0	13.6
46 わからない	6.1	1.7
無回答	12.8	8.5

問 11 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。（○は1つ）

6.7 満足しているほう	9.9 やや不満があるほう
37.3 まあ満足しているほう	5.0 不満があるほう
31.8 どちらともいえない	2.7 わからない
	2.7 (無回答)

【新型コロナウイルス感染症の暮らしへの影響】

問 12 新型コロナウイルス感染症の取扱いが変更されましたが、一年前の今ごろとくらべて、あなたの生活で次のことが増えましたか。それとも減りましたか。なお、ご自身に関連しない項目については「変わらない」に○をしてください。（○はそれぞれ1つ）

	増えた	変わらない	減った	無回答
(ア) 世帯の収入	5.9	73.3	18.8	2.1
(イ) 世帯の支出	49.8	44.2	3.7	2.3
(ウ) しごと・労働時間（学業を含む）	14.0	69.3	9.0	7.7
(エ) 一人で過ごす時間	19.1	65.0	13.5	2.4
(オ) 家族と過ごす時間	16.7	69.5	10.8	3.0
(カ) 友人・知人と過ごす時間	14.9	43.4	39.2	2.5
(キ) 地域の人とのつながり	5.4	70.4	21.7	2.6
(ク) 運動する時間	12.0	61.2	23.4	3.4
(ケ) 店舗に出向いて買い物をする機会	20.2	51.9	25.8	2.1
(コ) インターネットショッピングや通販の利用	29.5	60.0	5.8	4.8
(サ) 外出する機会	26.4	38.9	32.7	2.0
(シ) インターネットの利用	29.6	60.6	4.6	5.2

【横浜の魅力】

問 13 「横浜」について魅力を感じる点はどんなところですか。（〇は3つまで）

12.9	経済的に活力があり、働く場に恵まれている	
23.3	国際的な雰囲気がある	
1.7	物価や地価が安定している	
49.9	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である	
29.8	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である	
9.5	文化・スポーツ・娯楽施設が充実している	
39.9	海や港が身近にある	
26.7	まとまった緑地などの自然が残っている	
5.0	情報が豊富で、新しい文化が生まれ、街が個性的である	
12.2	伝統が息づき、古い街並みや建物が残るなど街に落ち着きがある	
1.8	人情味が豊かで人と人との触れあいがある	
3.5	地域社会が開放的でさばさばしている	
2.1	防災対策が充実しており、安心して暮らせる	
7.1	風紀が良く犯罪が少ない	
4.7	特に魅力を感じる点はない	3.9（無回答）

【地域への愛着】

問 14 あなたは、横浜やお住まいの区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。

（〇はそれぞれ1つ）

	感 じ て い る	や や 感 じ て い る	い ど ち え ら な い も	て あ ま い り な 感 い じ	て ま っ た い た く な 感 い じ	無 回 答
(ア) 横浜に対して	38.5	37.3	16.0	5.0	1.9	1.3
(イ) お住まいの区に対して	24.7	40.2	23.2	7.9	2.6	1.4
(ウ) お住まいの周辺の地域に対して	22.9	39.6	25.1	8.4	2.5	1.5

【今後の横浜のまち】

問 15 横浜市では横浜市中期計画 2022～2025 において、「2040 年頃の横浜のありたい姿」として共にめざす都市像「明日をひらく都市 OPEN×PIONEER 2040 YOKOHAMA」を掲げています。

今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。最も優先したいものを5つまでお選びください。（○は5つまで）

- 44.0 子どもを安心して育てられる
- 9.7 住民同士の協力や助け合いが盛んである
- 44.7 高齢者や障害のある人も暮らしやすい
- 49.7 医療体制が充実している
- 10.8 国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある
- 25.7 バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している
- 24.0 鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている
- 15.7 多くの企業が集まり、安定した雇用がある
- 6.9 様々な分野で先端技術を活かした取組が進んでいる
- 10.3 国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいがある
- 22.3 歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある
- 12.7 魅力的な商業施設が多い
- 12.7 文化・芸術に触れる機会が多くある
- 8.4 スポーツに親しむ機会（観戦や応援を含む）が身近にある
- 28.8 豊かな自然がある
- 6.4 脱炭素社会の実現に向けた取組が進んでいる
- 33.0 災害に強い
- 37.1 犯罪が起きにくい
- 20.3 市民の声が市政に十分反映されている
- 1.3 その他（具体的に
- 2.1 特にな

2.1（無回答）

【グローバルな人材の育成】

問 16 横浜市ではグローバルな視点をもって活躍できる人材の育成を進めています。グローバルに活躍するために必要だと考える能力は何ですか。（○はいくつでも）

- 72.0 語学力やコミュニケーション能力
- 40.8 外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性
- 52.1 多様性や異文化への理解
- 29.4 横浜に対する愛着と魅力の発信力
- 43.1 国際社会の動向などについての幅広い教養
- 21.2 脱炭素社会の実現に向けた地球規模の問題に対する当事者意識

3.7（無回答）

【国際園芸博覧会】国際園芸博覧会についてお尋ねします。

問17 あなたは、本市で開催される予定の2027年国際園芸博覧会（正式略称「GREEN×EXPO 2027」）について、どの程度知っていますか。（○は一つ）

- 2.5 よく知っている
- 8.3 聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- 37.3 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 50.8 まったく知らない

1.1（無回答）

2027年、横浜で万博が開催されます！

GREEN × EXPO 2027

2027年国際園芸博覧会

【開催期間】 2027年3月19日（金）～9月26日（日）

【開催場所】 旧上瀬谷通信施設（旭区・瀬谷区）

【開催者】 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

＼詳細はこちら／



公式ウェブサイト↑

2027年、国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」が、横浜・旧上瀬谷通信施設で開催されます。

国内で7回目、1都3県では初の万博です。「幸せを創る明日の風景」をテーマに、自然・人・社会が「ともに持続するための最適解」を横浜の地で描いていきます。

地球温暖化をはじめとする人類共通の課題に対してグリーンの力を活用した解決策を提示し、それをショーケースとして世界に力強く発信します。



※（公社）2027年国際園芸博覧会協会より提供

【大都市制度】横浜市が目指す大都市制度についてお尋ねします。

問 18 あなたは、横浜市が目指す「特別市（以前使用していた名称の「特別自治市」を含む）」について、どの程度知っていますか。（〇は1つ）

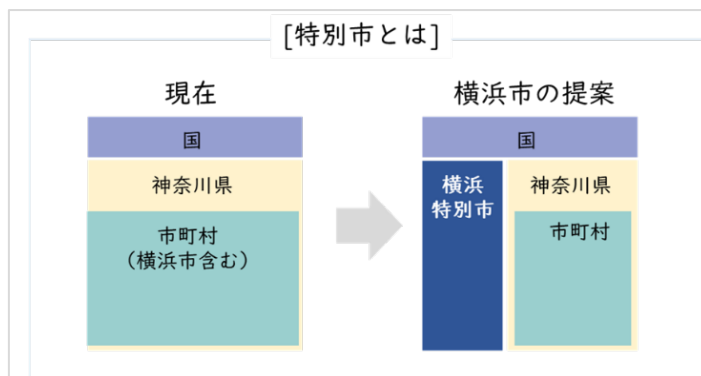
- | | |
|---------------------------|----------|
| 1.1 よく知っている | |
| 6.4 聞いたことがあり、内容もある程度知っている | |
| 28.7 聞いたことはあるが、内容はよく知らない | |
| 61.2 まったく知らない | 2.6（無回答） |

「特別市」～横浜市が目指す新たな地方自治の仕組み～

政令市である横浜市は、370万人を超える人口と、14.5兆円もの経済規模を持つ、四国4県とほぼ同じ規模の大都市ですが、神奈川県下の市町村の一つです。現在、県と市が分担あるいは重複して、それぞれの仕事を行っています。

市民に身近な横浜市が地方自治体の仕事を一括して担うことができるようになると、地域の声が届きやすく、素早い対応もでき、市民サービスの向上や地域経済の一層の活性化が期待できます。そのための新たな地方自治の仕組みが「特別市」です。

横浜市は他の政令市と共に、法律で「特別市」の制度をつくることを国に提案しています。



詳細はこちら



市ウェブサイト↑

【あなたのこと】

最後に、あなたご自身やご家族のことについてお尋ねします。統計上、必要なものですので、ご記入を
よろしく願いいたします。

F 1 あなたの性別は。(○は1つ) ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

44.3	男 性	51.9	女 性	3.8	(無回答)
------	-----	------	-----	-----	-------

F 2 あなたのお年は何歳ですか。(○は1つ)

1.0	18～19 歳	5.9	35～39 歳	9.2	55～59 歳	9.6	75～79 歳
3.3	20～24 歳	6.3	40～44 歳	8.9	60～64 歳	2.5	80 歳以上
3.4	25～29 歳	8.2	45～49 歳	7.3	65～69 歳		
5.3	30～34 歳	10.8	50～54 歳	9.3	70～74 歳	2.5	(無回答)

F 3 あなたのお住まいの区はどちらですか。(○は1つ)

7.7	青葉区	4.1	磯子区	5.9	港南区	3.8	瀬谷区	8.3	戸塚区	4.9	保土ヶ谷区
5.6	旭区	6.1	神奈川区	8.4	港北区	4.8	都筑区	3.8	中区	5.0	緑区
4.3	泉区	5.9	金沢区	3.5	栄区	8.0	鶴見区	2.6	西区	4.8	南区
										2.5	(無回答)

F 4 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

29.4	はい	68.1	いいえ	2.5	(無回答)
------	----	------	-----	-----	-------

F 5 あなたは、結婚なさっていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

66.4	既婚 (配偶者あり)	11.3	既婚 (離別・死別)	19.3	未 婚	3.0	(無回答)
------	------------	------	------------	------	-----	-----	-------

(F 5で「1」と答えた方に)

> F 5-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

(n=1,462)

46.5	している	53.1	していない	0.3	(無回答)
------	------	------	-------	-----	-------

F 6 あなたにお子さんはいますか。いらっしゃる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

27.6	子どもはいない	6.6	短大・大学・大学院在学中		
7.3	小学校入学前	16.1	学校教育終了-未婚-同居		
7.9	小学校在学中	13.1	学校教育終了-未婚-別居		
5.1	中学校在学中	3.4	学校教育終了-既婚-同居		
5.5	高校在学中	26.8	学校教育終了-既婚-別居		
1.4	各種学校、専修・専門学校在学中	2.7	その他 (具体的に)	5.3	(無回答)

F 7 お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。同居している方のみを対象に当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

12.2	一人暮らし	3.5	祖父母と親と子 (3世代)	
27.9	夫婦のみ	5.1	その他	
44.9	親と子 (2世代)	(具体的に)	6.4	(無回答)

F 8 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

46.3 持家(一戸建て)	2.7 借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)
29.7 持家(マンション・共同住宅)	1.6 借家(社宅、公務員住宅)
1.0 借家(一戸建て)	14.3 借家(民間アパート、民間賃貸マンション)
2.0 借家(県営・市営の共同住宅)	0.8 その他(具体的に)
	1.4 (無回答)

F 9 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

5.6 自営業 (農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)	
6.4 管理職 (会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)	
10.3 専門技術職 (勤務医師、研究所研究員、技師など)	
19.2 事務職 (事務職、営業職、教員など)	
19.2 現業職 (生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)	
12.8 専業主婦・主夫	
2.3 学 生	
21.8 無 職	2.5 (無回答)

(F 9で「2」～「5」と答えた方に)

→ F 9-1 あなたの現在のご職業の雇用形態や従業上の地位は何ですか。(○は1つ) (n=1,211)

6.3 会社役員	23.5 アルバイト・パート	10.5 契約社員・嘱託社員
54.0 正社員・正規職員	3.2 派遣社員	1.7 その他(具体的に)
		0.9 (無回答)

→ F 9-2 あなたの勤務地(複数ある場合は主な勤務地)はどこですか。(○は1つ) (n=1,211)

24.4 居住区内	5.2 川崎市を除く県内の他市町村	0.3 千葉県
31.7 市内他区	25.9 東京都区部	0.2 埼玉県
6.9 川崎市	1.5 東京都区部を除く東京都	3.1 その他()
		0.9 (無回答)

→ F 9-3 あなたの普段の通勤時間(片道)はどのくらいですか。勤務地が複数ある場合は、主な勤務地についてお答えください。(○は1つ) (n=1,211)

34.1 30分未満	25.8 1時間～1時間30分未満	1.2 2時間以上
33.4 30分～1時間未満	5.3 1時間30分～2時間未満	0.2 (無回答)

F 10 お宅の最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれにあたりますか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、最も近いほうをお答えください。(○は1つ)

〔注：複数の鉄道路線が乗り入れるターミナル駅など(例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など)が最寄り駅の場合は、普段利用している路線名を答えてください。普段利用している路線が定かでない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。〕

10.3 東海道線・横須賀線	17.3 市営地下鉄線[ブルーライン・グリーンライン]
7.5 横浜線	1.1 南武線
7.4 東横線	1.1 金沢シーサイドライン
8.0 田園都市線・こどもの国線	0.4 鶴見線
4.5 京浜東北線[横浜～鶴見]	1.1 みなとみらい線
8.1 根岸線[横浜～大船]	1.0 その他・駅名
13.9 京浜急行線	(具体的に)
14.9 相鉄線[本線・いずみ野線・新横浜線]	0.5 わからない
	2.7 (無回答)

ご協力ありがとうございました